

バスケットボールコース

3つのポリシー

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

バスケットボールコースでは、バスケットボールを様々な角度から研究し、スキル・体力向上を目指すとともに、スポーツ・健康・医療に関わる多様な分野の基礎知識を学び、理論と実践を通して社会に貢献できるグローバルな人材育成を目標とします。そのため、以下の資質・能力を身につけた者に卒業を認めます。

1. 人と人との繋がりを大切にし、その輪を広げていける。
2. 様々な角度からバスケットボールを捉え、競技力の高い・次のステップで通用する人材であること。
3. 挨拶・礼儀・マナーを大切にし、積極的なコミュニケーションがとれる。
4. 客観的な視野を持ち、主体性があり、人を巻き込み周囲を動かす力がある。
5. 目標設定を明確にし、その目標に向かって行動できる人間力を身につける。

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

バスケットボールの技能及び指導法を学び実践することで、知識・理解を深めます。また、スキル・体力向上を目指すとともに、スポーツ・健康・医療に関する基礎知識を理解します。1 年次には、スポーツ・健康・医療に関する基礎知識を学び、幅広い教養を身につけます。また様々な授業でグループワークやプレゼンテーションの機会を増やし、コミュニケーション能力を養います。2 年次には、1 年次に学んだスポーツ・健康・医療の基礎知識を元に、各自の目標と進路について熟考させた上で、以下コースを選定し理解を深め実践力を養います。

-Player

バスケットボールの知識、競技力の向上、状況判断、得点力、個性（特徴）、かけひき・基

礎体力

-Coach

バスケットボールの知識、コーチング、情報処理能力、映像分析、データ分析、ゲームプランニング

(大学編入) (コーチライセンス)

-Trainer

トレーニング指導者、アスレティックトレーナー、医療（理学療法、柔道整復、鍼灸）

-Sports business

スポーツマネジメント、情報処理、プレゼンテーション、語学力

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

バスケットボールコースが目標とする人材を育成するため、本校の教育内容に高い関心と理解があり、以下の素質を備えた入学者を受け入れます。

1. 高等教育までの基礎学力を備えており向上心を持ち学ぶ者。
2. 自らの将来をよく考え、主体的に学ぶ力やコミュニケーション力、実行力を持つ者。